

塩津地区  
かわら版  
第3号

塩津地区  
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

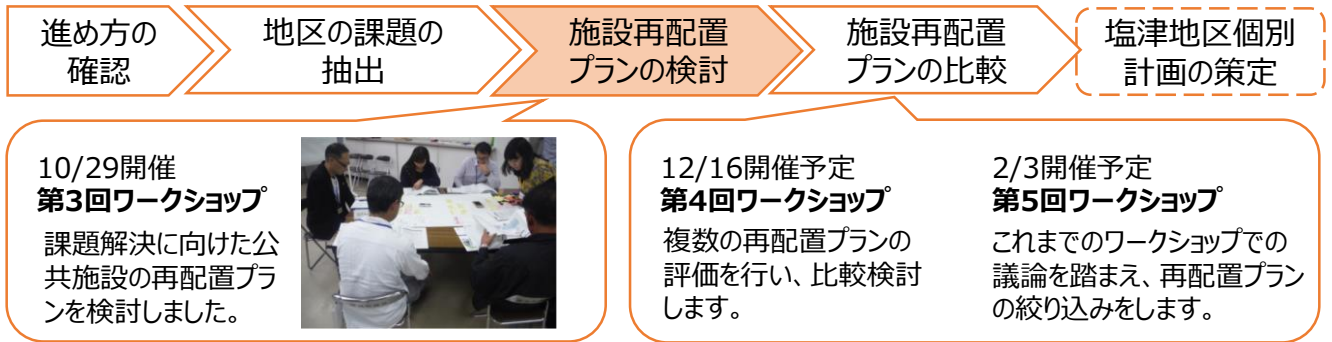
蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで今年度、塩津地区にある公共施設（小学校・中学校・公民館・保育園・児童館）の将来について、地区にお住まいの皆様と協働で考えていく機会として、「塩津地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。10月29日(日)に塩津公民館にて開催された第3回ワークショップの内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われている内容等についてのご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップの場で示し、検討を進めていきます。（最終ページの「ご意見募集」をご覧ください。）

検討の進め方

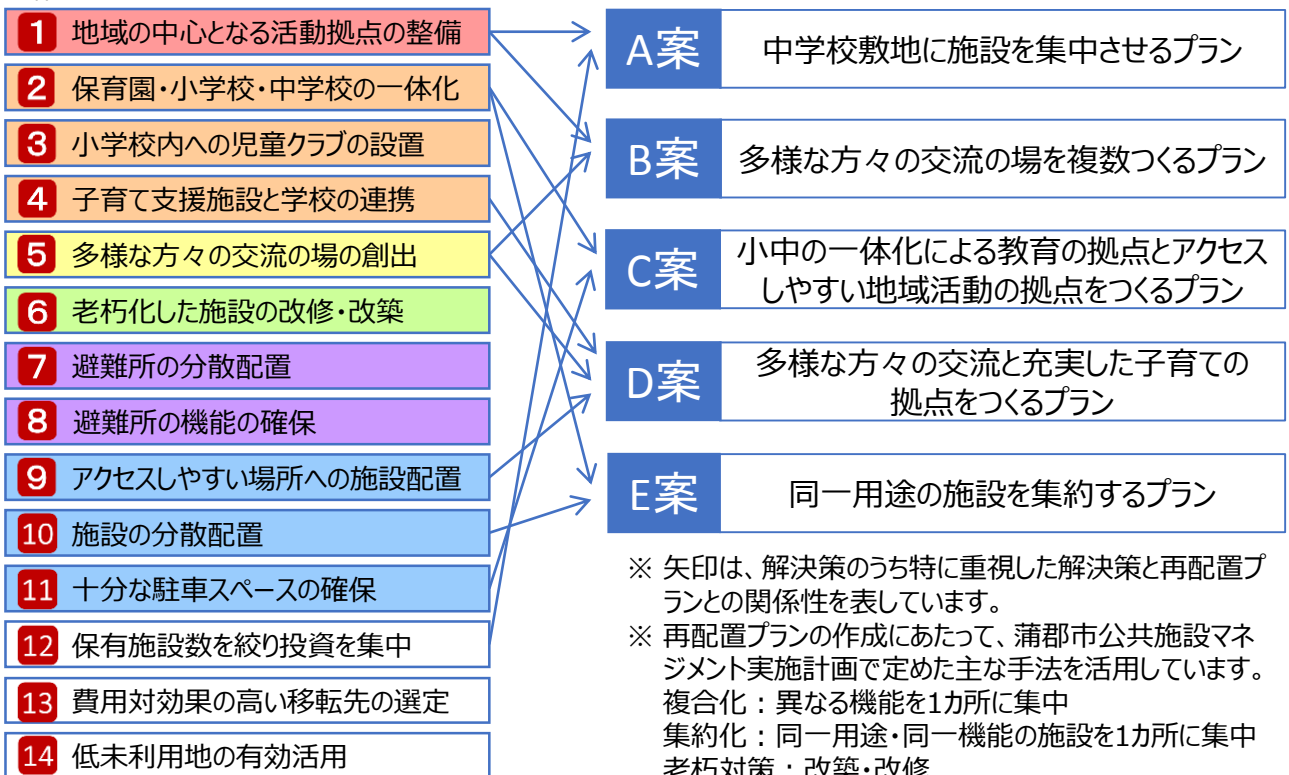
蒲郡市は、このワークショップをはじめ、広く地区の皆様からいただいたご意見を反映させた、塩津地区の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」を策定します。下図のように段階的に検討を進めます。第3回ワークショップでは、「塩津地区の公共施設再配置プラン」と「プランを評価する視点」について話し合いました。



再配置プランの考え方

第2回ワークショップまでの検討内容に基づき、地区の課題の解決策を14個の項目として整理しました。これらを活用して、コンセプトの異なるA～Eの5つの再配置プラン案を作成しました。

すべての課題を満足に解決する案を作成することは困難ですが、複数のプランを比較しながら、より多くの課題を解決する再配置プランはどういったものか、検討していくことが必要です。



# 5つの再配置プラン案についての議論内容

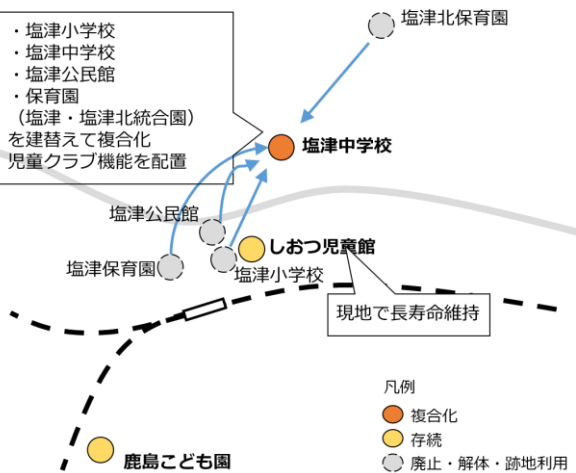
第3回ワークショップでは、これまでワークショップでいただいた意見をもとに作成した5つの再配置プラン案について議論されました。それぞれの案について、期待されること、懸念されることのご意見をいただきました。（○：期待 ●：懸念）

## A 中学校敷地に施設を集中させるプラン

- ・塩津中学校に、塩津小学校、塩津・塩津北保育園の統合園、塩津公民館を複合化

### 【議論の内容】

- 多世代の交流が促進されるのが良い。
- 保育園、小学校、中学校が一体的に整備されると、教育面や生活面への効果に加え、送迎の負担など軽減されるので良い。
- 児童館は異年齢の子どもが一緒になると危険な場面もあるので、小学生の利用が減り未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。
- 分散投資して中途半端になるより、1カ所に集中投資することができる方が良いものができると思う。
- 高台にある中学校に施設を複合化するのは災害を考慮するとよい。
- 小学校の跡地は、売却できれば市の財政にとっても良い。
- 各施設に十分な機能を整備するには敷地面積が足りないのではないか。不自由が生じないような棲み分けが必要だろう。
- 中学校に小学校が集約されると、鹿島・拾石の子ども達の通学が大変になる。公共交通や通学バスの整備が必要ではないか。
- 跡地が売却されると、避難所として使用できないのではないか。
- 公民館が駅から遠くなるので、車の運転ができない高齢者にとって公民館が使いにくくなるのが心配だ。

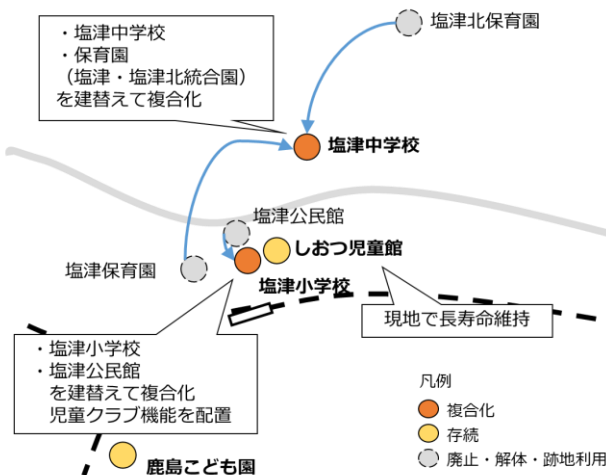


## B 多様な方々の交流の場を複数つくるプラン

- ・塩津小学校に塩津公民館を複合化
- ・塩津中学校に塩津・塩津北保育園の統合園を複合化

### 【議論の内容】

- 保育園と公民館が移動するだけなので現状が一番近く、利用者の負担が低く抑えられそうだ。
- 中学校と保育園、小学校と公民館の組み合わせは、利用の際に用途がかぶってバッティングが起こることがなく、それぞれの施設に十分なスペースも取れそうで現実的な案だと思う。
- 小学校周辺は地区内で一番アクセスが良いので、公民館で日常的に活動をするならば、利便性が高い。
- 小学校と公民館を複合化すれば地区の人の顔が見えるので、小学校のセキュリティを確保した上で一体的にするのは良いと思う。
- 保育園の送迎と中学生の登下校が重なったときに、車と生徒が錯綜して危険ではないか。
- 保育園が集約されて中学校に複合されると、十分な駐車スペースが取れなくて保育園の保護者が困らないか。
- 高台にある中学校敷地に保育園が移ると送迎が不便になる。特に自転車や徒歩の人が大変だろう。
- 万が一中学校が荒れるようなことになったら、園児に危険が及ばないか心配だ。



### 【各案共通事項】

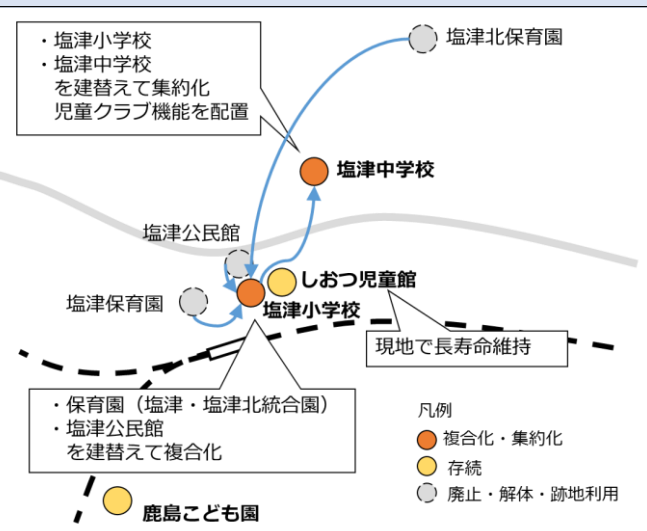
- ・これまでのワークショップでご意見を多数いただいていた0～2歳の低年齢児保育や延長保育を実施するためには、保育園はある程度の施設規模が必要となります。そのため全ての再配置プラン案において、保育園は適正規模のものを1カ所つくることとしています。

### 【各案共通の議論の内容】

- ・駅の北側だけで施設配置が考えられているので、南側の住民のアクセスの公平性に配慮が必要だ。そのために塩津地区内だけでなく、地区を越えた複合、集約も考えてはどうか。
- ・避難所の分散化の観点からも小学校と中学校は分かれている方がよい。
- ・機能を果たすのに十分なグラウンド、体育館、駐車場の面積が確保できるかが課題になる。
- ・2つの保育園を集約することでサービスの充実が期待できるので賛成だ。
- ・地区内の2カ所にグラウンドが必要だと思う。避難時に十分な駐車スペースが確保でき、片方がイベントで使用していても、もう片方で部活動ができるなど利用の際の融通がきくようになる。
- ・跡地の利用プランを想定した上で施設配置を計画する必要があるのではないか。

## C 小中の一体化による教育の拠点とアクセスしやすい地域活動の拠点をつくるプラン

- ・塩津中学校敷地に小中学校の機能を集約
- ・塩津小学校の敷地に、塩津・塩津北保育園の統合園、塩津公民館の複合施設を整備

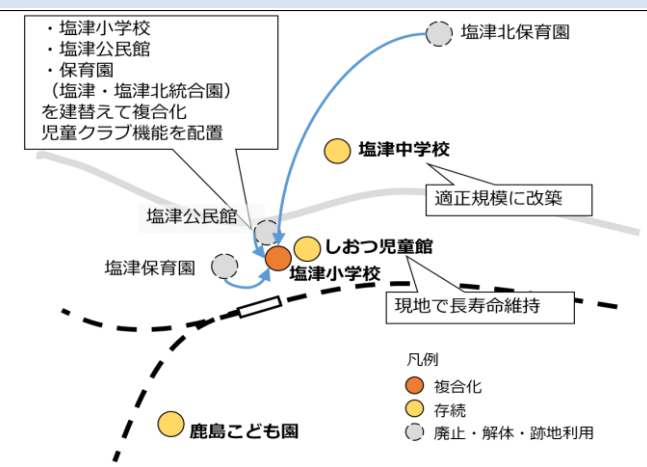


### 【議論の内容】

- 小中学校が一体的に整備されると、学習面や生活面での連携ができることによる様々な効果が期待できると思う。
- 各施設のスペースに余裕があり、2つの拠点ができる点が良い。
- 保育園と公民館が複合することで現状の高齢者と園児との交流が更に促進され、双方にとって良い効果が生まれると思う。
- アクセスが良い小学校の立地に保育園を複合するのは良い。
- 日常的に利用する公民館が現在の場所に残るのは、アクセスの点から考えて良い。
- 児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。
- 体育館やグラウンドの広さが十分に確保できるの心配だ。
- 鹿島地区の子どもの通学が大変になる。
- 小学校敷地に保育園と公民館だけを建てるのでは土地が余るのではないかと。
- 公民館の近くに学校の体育館がなくなってしまうと、実施できるイベントが限られてしまう。
- 小学校から児童館が遠くなると、小学生の利用率が下がるのではないかと。

## D 子育てしやすい環境と地域活動の拠点をつくるプラン

- ・塩津小学校に塩津・塩津北保育園の統合園、塩津公民館を複合化

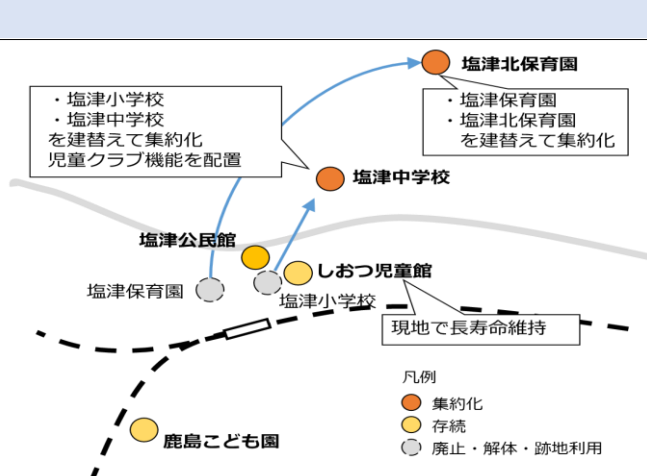


### 【議論の内容】

- 小、中学校も分かれたまま今の場所に残るので、通学や避難所の問題が発生しない。
- 保育園を小学校に集約すれば、行事を一緒にできるので盛り上がるし、世代間交流もできる。
- 高齢者と幼児の交流が生まれて双方にメリットがあると思う。
- アクセスが良い小学校の敷地に保育園を複合するのは良い。
- 日常的に利用する公民館が現在の場所に残るのは、アクセスの点から考えて良い。
- 十分な広さの駐車場が確保できるの心配だ。
- 中学校を改築して規模が縮小されても、市街化調整区域なので余剰の土地の売却や土地の活用が難しく、有効に活用できないのはもったいない。

## E 同一用途の施設を集約するプラン

- ・塩津中学校敷地に小中学校の機能を集約
- ・塩津・塩津北保育園の機能を塩津北保育園に集約



### 【議論の内容】

- 進学時の環境の変化がなくなるので不登校の防止になる。
- 災害時の避難拠点を分散させるという点で、塩津北保育園を残すのは良い。
- 児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。
- 小学校の跡地は、売却できれば市の財政にとっても良い。
- 施設が北部に偏っているので、南部の住民が利用しにくい。
- 公民館の近くに学校の体育館がなくなると実施できるイベントが限られてしまう。
- 小学校が中学校敷地に移転して児童館が遠くなると、小学生の児童館利用率が下がるのではないかと。



# 再配置プランを評価する8つの視点

第3回ワークショップでは、再配置プランを評価する指標として、これまでのワークショップでのご意見をもとに整理した塩津地区の皆様が大切だと思っている8つの視点を活用することを確認しました。これらの視点にもとづいて、再配置プランの評価・比較を行い、絞り込みを進めていきます。

## ① 地区の活性化（まちづくり）

住民のつながりや塩津ならではの特徴に繋がる地区の行事や活動などが一体的に実施できる場となっているか。

## ② 子育てしやすい環境づくり

立地、規模、サービスの面から子育てしやすい環境となっているか。子どもの居場所・遊び場は確保されているか。

## ③ 多様な方々が利用できる場の創出

多様な方々（若者・高齢者・障がい者・外国人など）が関心を持って交流できる場は用意されているか。

## ④ 安全の確保

老朽化への対応は適切にされているか。  
防犯面に配慮されているか。

## ⑤ 災害時の対応

避難所の数・機能・位置は適切か。

## ⑥ アクセシビリティへの配慮

各所から通いやすい配置となっているか。  
駐車スペースは十分に確保されているか。

## ⑦ 将来負担（コスト）の縮減

維持更新費用・運営費用は縮減されているか。  
跡地は有効に活用されているか。

## ⑧ 運営の改善

※再配置を実施後に配慮しなければいけない事項(付帯事項)として整理します。

## 皆様のご意見をお聞かせください!!

# オープンハウスのご案内

①会場：しおつ児童館 玄関ホール

日時：11月30日(木)及び12月1日(金) 午前9時～正午

②会場：イオン蒲郡店 イートインコーナー横

日時：12月 3日(日) 午前10時～午後4時

- ワークショップの参加者のみならず、広く塩津地区の皆様からのご意見をいただく機会として、オープンハウス（パネル展示型説明会）を開催いたします。
- 会場では、担当者がワークショップでの議論の内容などをパネル展示をもとに説明いたします。①・②の両会場ともパネル展示の内容は同様ですので、ご都合のよい会場まで、お気軽にお立ち寄りください。



## ご意見募集

- ワークショップで検討されている内容について
- 塩津地区のまちづくりや公共施設について

右の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、ご意見をお届けください。  
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

## お問い合わせ先

蒲郡市総務部財務課 公共施設マネジメント担当  
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号  
TEL 0533-66-1158/FAX 0533-66-1183  
E-mail zaimu@city.gamagori.lg.jp

ワークショップでのご意見や資料等は、市ホームページに掲載しています。

<http://www.city.gamagori.lg.jp/unit/zaimu/machizukuri-kokyoshisetsu.html>